

# 都市再生整備計画 事後評価シート

## 川中地区

平成26年3月

山口県下関市

様式2-1 評価結果のまとめ

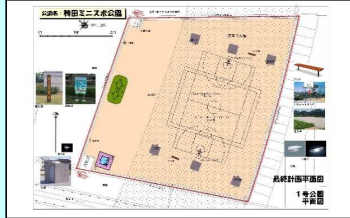
都道府県名	山口県		市町村名	下関市		地区名	川中地区			面積	73.0ha	
交付期間	平成22年度～25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	440.5 百万	国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 基幹事業 公園(3箇所)、地域生活基盤施設(広場2箇所、情報板)、高質空間形成施設(植栽・緑化施設)、土地区画整理事業(川中地区) 提案事業 地域創造支援事業(排水路整備)、事業活用調査(事後評価)、まちづくり活動推進事業(ワークショップ)									
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	新たに追加した事業	基幹事業	なし									
		提案事業	事業効果分析(モニタリング)			事業完了まで今までと同じ手法で事業を行っても、目標指標に対して評価可能と判断したため			影響なし			
	交付期間の変更	当初	平成22年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変更										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	生活道路交通混雑量	台/15hr	7,400	H21	3,700	H25	—	3,552	○	あり なし	川中土地区画整理事業等によって都市計画道路長府綾羅木線が国道191号まで開通したことにより、生活道路である市道川中伊倉本町3号線の交通量が低減され、生活交通の安全性・快適性を向上させることができた。
	指標2	消防活動支障区域面積	ha	4.7	H21	3.3	H25	—	3.3	○	あり なし	川中土地区画整理事業によって幅員6m以上の道路網が整備されたことにより、消防自動車の活動範囲が広がって消防活動に支障がある区域が減少し、安全性の向上と安心できる環境づくりを図ることができた。
	指標3	排水不良区域面積	ha	5.2	H21	0	H25	—	0	○	あり なし	JR山陰本線沿いの排水路を整備したことにより、排水不良区域が解消し、安全性の向上と安心できる環境づくりを図ることができた。
指標4	ワークショップ参加者数	人	0	H21	60	H25	—	56	△	あり なし ●	川中土地区画整理事業地区内の公園・広場の整備に関するワークショップを開催し、多数の住民の参加を得たことにより、公園づくりを中心とする住民との協働による住環境づくりへの関心の高まりを図ることができたが、数値目標に達しなかった。	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
その他の数値指標1	主要幹線道路までの到達時間	分	3.8	H21	/	/	—	3.3	/	/	川中土地区画整理事業等によって都市計画道路長府綾羅木線(一般県道新下関停車場稗田線)が国道191号まで開通したことにより、主要地方道下関線と国道191号との連絡時間が短縮され、幹線道路ネットワークを充実させることができた。	
その他の数値指標2	まちづくり活動・会合等の開催回数	回	3	H21	/	/	—	4	/	/	川中土地区画整理事業地区内の公園・広場の整備に関する住民参加のワークショップやまちづくり事業の説明会を開催したことにより、公園づくりやまちづくりを中心とする住民との協働による住環境づくりへの関心の高まりを図ることができた。	
4) 定性的な効果発現状況	・地区西部の既存市街地は、土地区画整理事業により狭隘道路の解消及び公園・広場の整備、整然とした街区の整備ができたことにより、安全で安心できる住環境づくりができた。											
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●
	住民参加プロセス	・公園・広場設計における住民参加(ワークショップの開催) ・まちづくり事業の説明会	都市再生整備計画に記載し、実施できた			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● ●
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			・今後も、住民の意見を聞いて利用の促進を図る。また、関係者や地域住民の意見を聞いてまちづくり活動の促進を図る。

# 様式2-2 地区の概要

## 川中地区(山口県下関市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 安全で安心できる環境を充実し、より暮らしやすい住環境の持続的な維持と充実	生活道路交通混雑量 単位:台/15hr	7,400 H21	3,700 H25	3,552 H25
目標① 幹線道路ネットワークの形成と生活交通の安全性・快適性の確保	消防活動支障区域面積 単位:ha	4.7 H21	3.3 H25	3.3 H25
目標② 安全性の向上と安心できる環境づくり	排水不良区域面積 単位:ha	5.2 H21	0 H25	0 H25
目標③ 住民との協働による住環境の維持と充実	ワークショップ参加者数 単位:人	0 H21	60 H25	56 H25

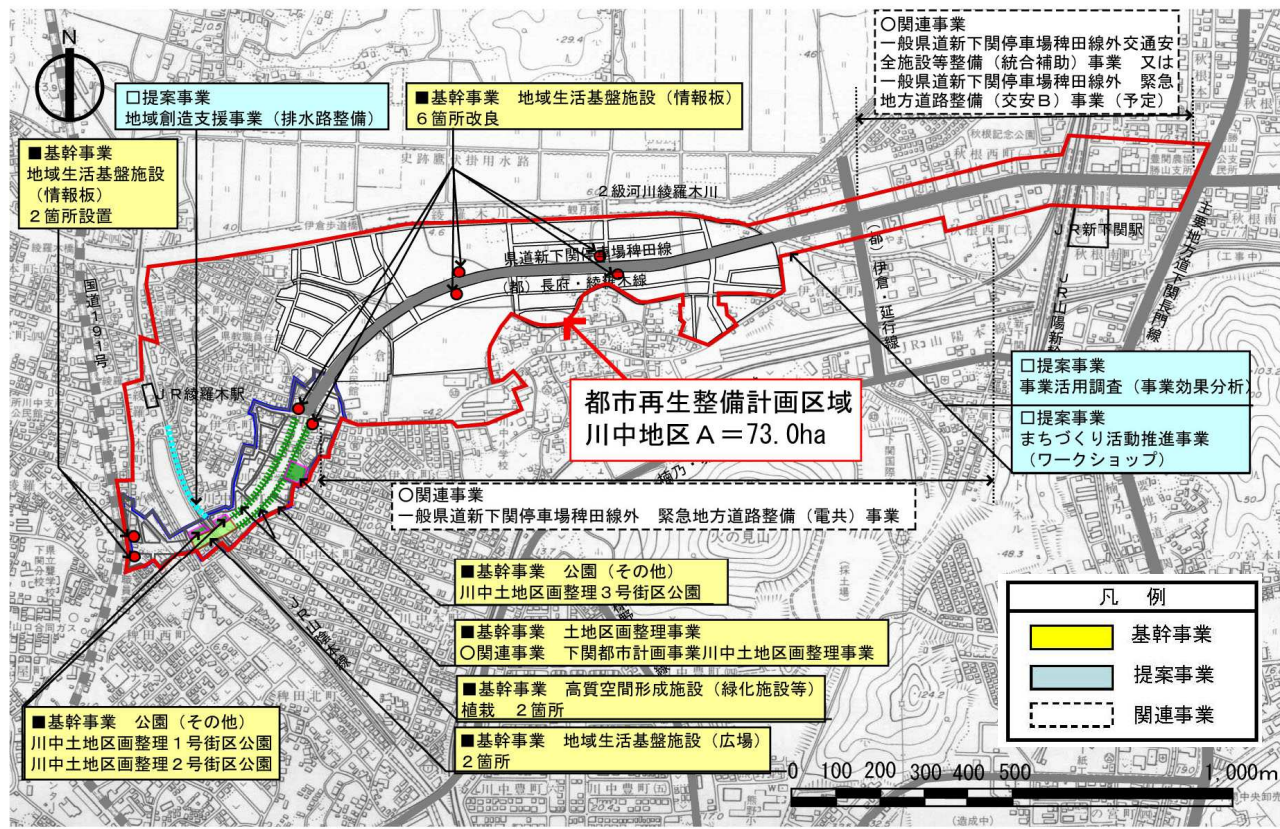
### 公園:川中土地区画整理1号街区公園



### 公園:川中土地区画整理2号街区公園



### 公園:川中土地区画整理3号街区公園



### 地域生活基盤施設:情報版



### 土地区画整理事業:川中地区



### 地域創造支援事業:排水路整備



### まちの課題の変化

- ・一般県道新下関停車場線的主要交差点に情報板を設置し、公共施設の利活用を促進することができた。また、関連事業により一般県道新下関停車場線の交通安全施設等を充実することができた。
- ・川中土地区画整理事業により整然とした街区と区画道路、公園・広場を整備するなど、総合的な都市基盤整備を行うことができた。
- ・川中土地区画整理事業等により都市計画道路長府綾羅木線(一般県道新下関停車場線)を国道191号まで開通させ、東西軸の強化とともに大規模商業施設関連交通等の円滑な処理及び生活道路への混入の排除を図ることができた。
- ・下流排水路の整備により流下能力の不足を解消することができた。
- ・川中地区土地区画整理事業地区内の公園・広場整備のワークショップを開催して多数の住民参加者を得たこと、またまちづくりへの関心が高められたことにより、コミュニティ活動の活性化を促進することができた。
- ・川中土地区画整理事業等による道路・公園などの整備や下流排水路の流下能力不足の解消などにより、安全で安心できる環境を形成することができた。

### 今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- ・道路、公園、下水道などの都市基盤整備は達成されたので、今後は住民との協働により適正な維持、管理を図る。
- ・安全で安心できる良好な住環境の形成をほぼ達成できたことから、今後は住民との協働によりまちの美化活動などのソフト施策を検討し、良好な環境などの保持、充実を図る。
- ・災害時の備蓄機能や防犯施設の整備を検討し、安全性の向上と安心できる環境の充実を進める。
- ・既存市街地の北西端部において、狭隘道路は沿道の開発行為・建築行為に併せて道路の拡幅整備の促進を図る。